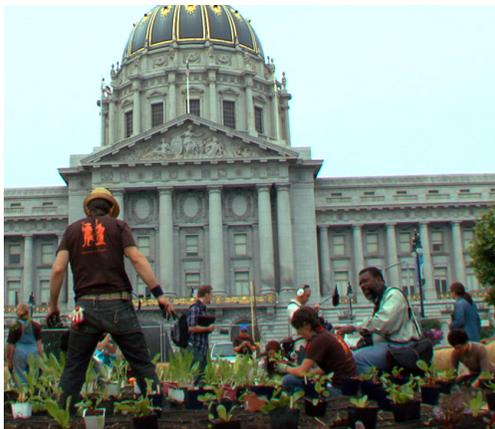


# 『都市を耕す エディブル・シティ』



畑で街を占拠しよう！

舞台はサンフランシスコ、バークレー、オークランドの3都市。

「空き地で、食べ物を作れるんじゃない？」

経済格差の広がる社会状況を背景に、新鮮で安全な食を入手するのが困難な都市を舞台に一部の市民が始めた、アスファルトやコンクリートをガーデンに変えていく活動。それが共感を呼び、世界に大きなうねりを生んでいます。

「食が重要視されないなら 市民がその重要性を訴えるだけ」

「(社会の中で) 問題は山積みだけど 食なら人々の力で変えられる」

そんな思いから、健康で栄養価の高い食べ物を手に入れるシステムを取り戻そうとさまざまな活動が生まれて行く。そして、一人一人の活動がコミュニティを動かす力となり、社会に変化をもたらす。卓越した草の根運動のプロセスを実感できるドキュメンタリーフィルム。

監督：アンドリュー・ハッセ  
配給：エディブルメディア  
56分／アメリカ／2014年

# “農”のある暮らし、始めませんか？



生ゴミ堆肥を使って自分たちで野菜を育てれば、安全安心な食料を自給できる上、ごみの減量や気候変動対策にもなります。

<野菜づくりを始めよう>

家庭菜園、プランター、市民農園、民間の貸し農園の他、空き地を借り近隣住民で野菜をつくるコミュニティ農園、学校や保育園の畑など、さまざまな形で野菜づくりを始めることができます。特にコミュニティ農園は、地域のコミュニティづくりにもつながります。

<生ゴミを活用しよう>

返子市では、家庭用コンポスト容器への助成に加え、2025年からは生ゴミ分別収集・堆肥化が始まる予定。自分で生ゴミから堆肥をつくったり、市が提供する堆肥を使ったりして美味しい野菜を作れば、生ゴミ中の炭素が燃やされずに土や作物になるため、脱炭素にもつながります。

返子ゼロ・ウェイストの会では今後、生ゴミ堆肥化や、無農薬・無化学肥料での野菜づくりなど、“農”のある暮らしをサポートするための情報提供や、イベント・勉強会の開催、交流の場づくりなどを行なっていきます。活動に興味のある方はぜひ、ご連絡ください。一緒に、サステナブルなまちをつくっていきましょう。また、返子近辺のコミュニティ農園などの情報もお寄せください。

**ZUSHI WASTE 返子ゼロ・ウェイストの会**

お問い合わせ：090-9380-1422(海野) 090-6114-1748(田中)

<https://zushizerowaste.wixsite.com/z-zw/>

mail: zushi.zerow@gmail.com

本日のイベントの一部はYouTubeにアップされます。

<https://www.youtube.com/@zushi-zerow>

